

第4章 県民・事業者意識調査(抜粋)

2018年9月1日から2018年9月30日まで再生可能エネルギー等に関するアンケートを県庁ホームページと紙媒体において実施し県民の皆様から409件、事業者の皆様から517件の回答がありました。

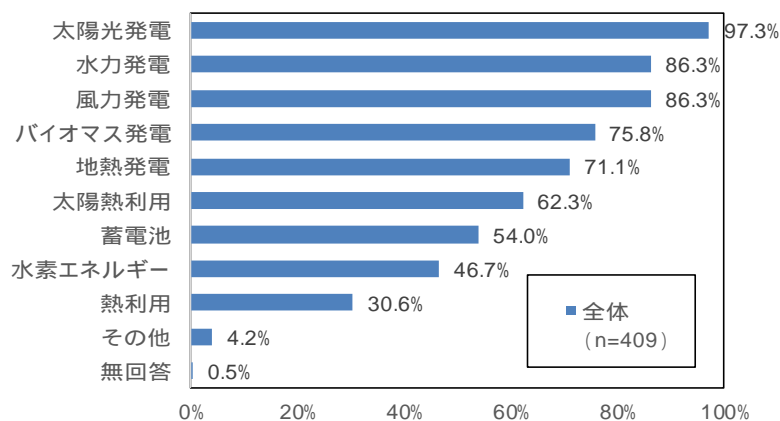
1 県民向けアンケート調査結果

409件の内訳

男性：280名、女性129名

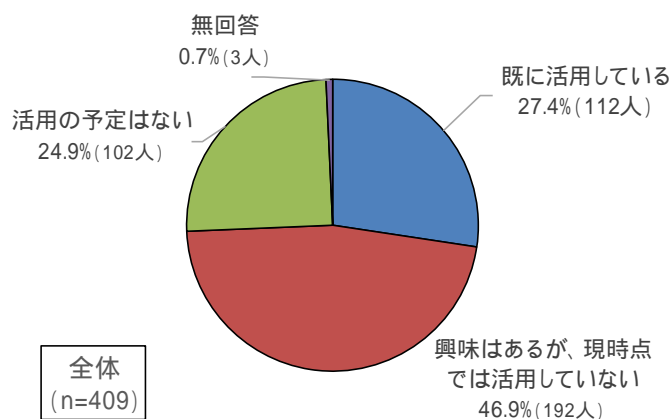
再生可能エネルギー等に関する関心、認知度（複数回答）

調査に協力いただいた県民（以下「県民」という。）の太陽光発電に対する認知度が非常に高く、水力発電、風力発電、バイオマス発電、地熱発電についても、7割以上が知っている再生可能エネルギーであるという結果でした。



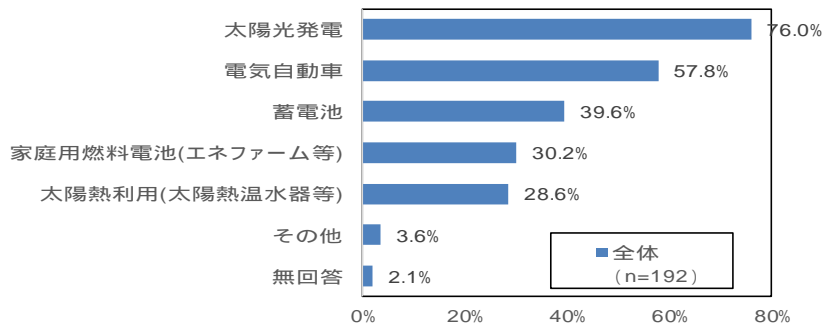
-1 再生可能エネルギー等の活用状況

「興味はあるが、現時点では活用していない」が46.9%と最も多く、今後、活用していただける可能性があります。



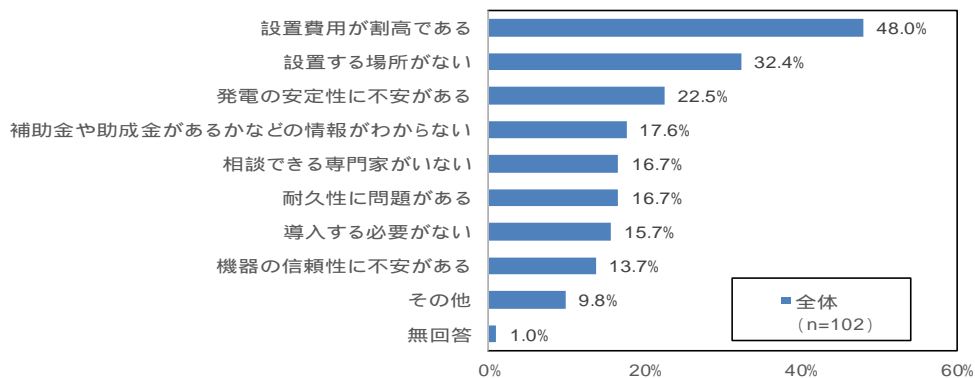
-2 「興味はあるが、現時点では活用していない」を選択された方が、どのような再生可能エネルギー等に興味をお持ちなのか。（複数回答）

太陽光発電や電気自動車を選択した県民が多い一方で、今後、普及が見込まれる蓄電池に39.6%の方が興味を示されています。



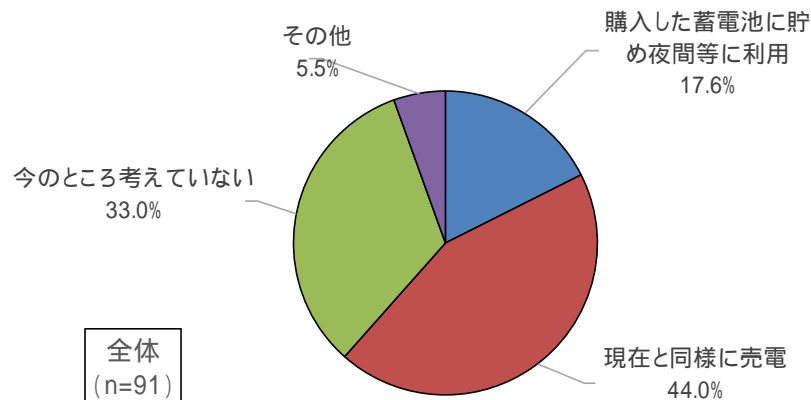
-3 「活用の予定はない」を選択された方の理由

「設置費用が割高である」を選択した県民が最も多いですが、「補助金や助成金があるかわからない」、「相談できる専門家がない」を選択した県民もそれぞれ約17%の回答がありました。



固定価格買取制度により売電している方が、買取期間終了後に予定する余剰電力の活用方法

「現在と同様に売電」を予定している県民が多く、次に「今のところ考えていない」を選択した県民が多いという結果でした。



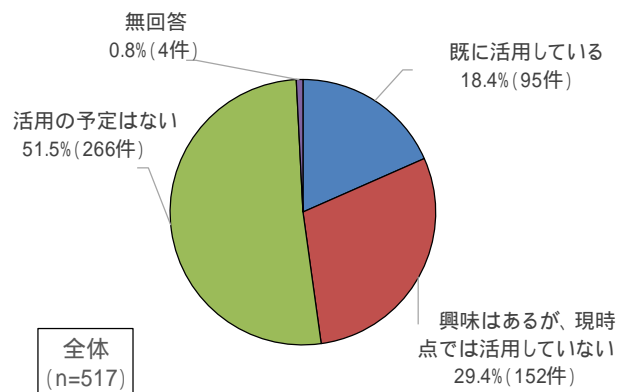
2 事業者向けアンケート調査結果

517 件の内訳

事業形態 工場：203 件(39.3%) 事務所：148 件(28.6%) 店舗：42 件(8.1%)
 その他：124 件(24.0%)

-1 再生可能エネルギー等の活用割合

調査に協力いただいた事業者（以下「事業者」という。）のうち、「活用の予定はない」が半数以上を占め、「既に活用している」を大きく上回りました。



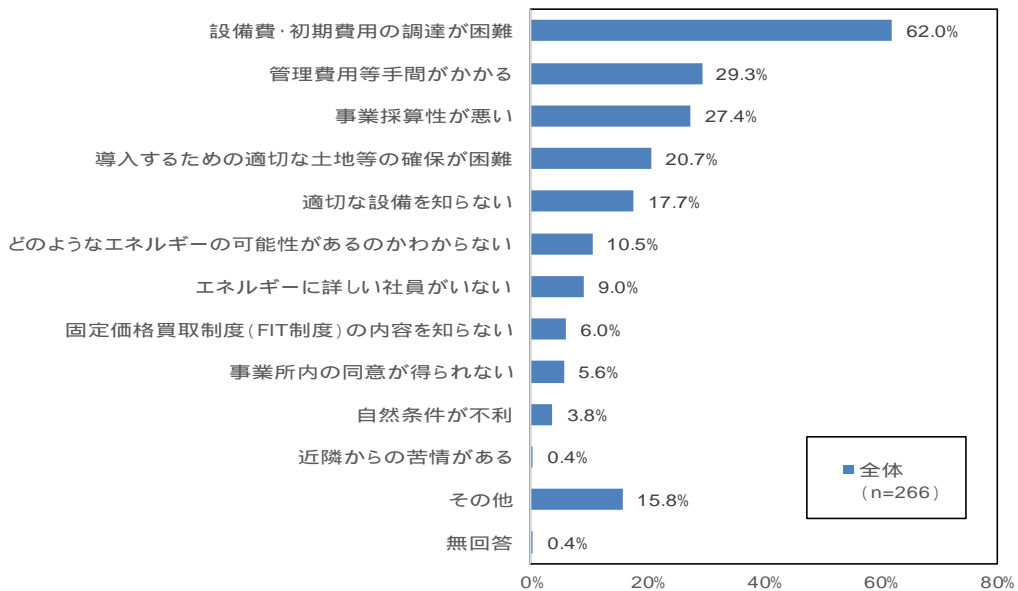
-2 「興味はあるが、現時点では活用していない」を選択された事業者が、どのような再生可能エネルギー等に興味をお持ちなのか。（複数回答）

「県民向け調査」の結果と同様に太陽光発電、電気自動車、蓄電池に多くの事業者が興味を示されています。

再生可能エネルギー等			全体 (n=147)
太陽光発電			87.8%
太陽熱利用(太陽熱温水器等)			19.0%
バイオマス 発電	木質系 バイオマス	森林バイオマス	5.4%
		製材残材	2.7%
		建築廃材	2.7%
		その他(剪定枝等)	2.0%
	製紙系バイオマス		2.0%
	農業残さ		8.8%
	家畜糞尿・汚泥		9.5%
食品系バイオマス		9.5%	
バイオマス熱利用			8.8%
水力発電			17.0%
風力発電			14.3%
温度差熱 利用	地中熱利用		3.4%
	下水熱利用		0.7%
	河川熱利用		2.0%
蓄電池			32.7%
電気自動車			29.9%
事業用燃料電池			10.2%
その他			1.4%

-3 「活用の予定はない」を選択された事業者の理由（複数回答）

「設備費・初期費用の調達が困難」を選択した事業者が最も多いですが、「適切な設備を知らない」や「どのようなエネルギーの可能性あるのかわからない」を選択した事業者も10%以上ありました。



固定価格買取制度により売電している事業者が、買取期間終了後に予定する余剰電力の活用方法（複数回答）

「今のところ考えていない」、「買取価格が高ければ売電」が、それぞれ3割以上あり、「買取価格が低ければ自家消費」や「自家消費」の合計を上回りました。

